

小学校の部 優秀賞 緑小学校6年 中須賀 光輝

四国防災八十八話 第40話 弟のおかげ

とにかく逃げる

「直ぐに津波が来る。早く逃げんと大変なことになる！」という弟の声がなかったら、母親の命も姉の命もありませんでした。この話はあの昭和南海地震での出来事でした。今、防災学習をしているぼくたちなら、大地震の後には必ず津波が来ることを知っています。けれど当時、津波への危機意識があまりない人たちにとって、あの弟の言葉は信じ難かったのかもしれませんが、結局弟のおかげで着の身着のまま逃げた家族は助かりましたが、正しい知識をもっていることの大切さを痛感しました。また、持って逃げる大切な物は、事前にしっかり準備しておくことも重要だと思いました。いざという時はパニックになって、何をもって、どこへ逃げるかわからなくなると思うので、家族で話し合っ

て準備しておきたいです。ぼくたち緑小学校では、南海トラフ地震に備えて、避難訓練をしています。今年は特に地区合同の避難訓練を行いました。家から学校まで保護者とともに地域の方々にも声をかけながら避難してきました。ぼくたちの地区は、一度集会所に集まり、そこにどのような防災器具などが確認し、ヘルメットがあったのでそれをかぶって避難しました。周りでどんな危険個所があるのか、親や地域の方々と確認できたこともよかったです。その後、各地区で非常持ち出し袋の中身の確認をしたり、親子で炊き出し訓練をしたりしてとても勉強になりました。そのほかにも、登校時や授業中、休み時間などに起こった時など様々な訓練をしています。どんな時でも、まずは頭を守る、すぐに逃げるをしていきたいです。この二つのことを忘れず、必ず来るという南海トラフ地震が起きた時、みんなで声をかけて避難し、ぎせい者が一人も出ないように、学んだことをしっかり生かしたいです。